

第66回全国博物館大会開催要項

大会テーマ 「博物館からつながる」

第66回全国博物館大会は、昭和3年に昭和天皇即位記念事業の一環として設立された日本博物館協会の創立90周年の記念大会として「博物館からつながる」をメインテーマに開催します。

今年の大会は、東京上野地区にある東京都美術館、国立西洋美術館、国立科学博物館、恩賜上野動物園、東京国立博物館の全面的な協力を得て、分科会も従来への6会場で開催します。また、来年9月開催のICOM（国際博物館会議）京都大会のプレ大会として、スアイ・アクソイ会長をはじめとするICOM役員にも特別に参加いただき、分科会のひとつとしてICOMフォーラムを開催します。

6つの分科会では全て、大会テーマである「博物館からつながる」にリンクした課題を取り上げ、来年のICOM京都大会のテーマである「文化をつなぐミュージアムー伝統を未来へー」に繋げます。

- (1) 記念トークでは、作家の三浦しをん氏から、著書「ぐるぐる博物館」を含め、国立科学博物館海部陽介氏を聞き手に、博物館にかかわるさまざまな観点からのお話を伺います。
- (2) 全国博物館フォーラムでは、今後の博物館行政の展望、学芸員の資質向上、自然科学系博物館の今後、ICOM京都大会に向けた動きなどについて説明し、フロアからの発言も求めながら協議します。
- (3) 分科会では、①「ICOMフォーラム『世界の博物館事情とその取組み』」、②「博物館がつながる・博物館からつながる - サイエンスとカルチャー」、③「世界とつながるコレクション情報」、④「ミュージアム・コミュニケーション - 『多様な関わりを創る』市民との協働」、⑤「博物館における環境教育」、⑥「ウェルカム ミュージアム！観光からつながる」の6つのテーマで議論を深めます。
- (4) 2日目午後のシンポジウムでは、分科会で深めた議論を持ち寄り、それぞれの分科会の代表者から発表し、会場を含めて質疑の場を設けます。
- (5) 2日目夕方には、東日本大震災での津波による被災から蘇った陸前高田のリードオルガンの生演奏をお楽しみいただきます。

本年は東京都博物館協議会ならびに日本博物館協会東京支部のご協力により、大会開催期間および直後の週末の入館園料の減免に100館園以上のご賛同をいただきました。

- 主催 公益財団法人日本博物館協会
- 共催 公益財団法人東京都歴史文化財団、東京都博物館協議会、日本博物館協会東京支部
- 後援 文化庁、観光庁
- 協賛 株式会社インターネットイニシアティブ
MIZKAN MUSEUM
株式会社丹青社
株式会社乃村工藝社
株式会社トータルメディア開発研究所
東京海上日動火災保険株式会社
- 協力 上野観光連盟、上野のれん会
- 会期 平成30年11月28日(水)～30日(金) 3日間
- 会場 大会主会場
東京文化会館 小ホール (上野駅前)
住所：〒110-8716 東京都台東区上野公園 5-45
TEL： 03-3828-2111 (代表)
- 分科会会場
東京国立博物館
住所：〒110-8712 東京都台東区上野公園 13-9
TEL： 03-3822-1111 (代表)
- 国立西洋美術館
住所：〒110-0007 東京都台東区上野公園 7-7
TEL： 03-3828-5131 (代表)
- 国立科学博物館
住所：〒110-8718 東京都台東区上野公園 7-20
TEL： 03-3822-0111 (代表)
- 東京都美術館
住所：〒110-0007 東京都台東区上野公園 8-36
TEL： 03-3823-6921 (代表)
- 恩賜上野動物園
住所：〒110-8711 東京都台東区上野公園 9-83
TEL： 03-3828-5171 (代表)
- 東京文化会館 小ホール
住所：〒110-8716 東京都台東区上野公園 5-45
TEL： 03-3828-2111 (代表)
- 参加者 1. 本協会加盟の下記の者
維持会員
賛助会員
2. 東京都内の博物館関係者
3. その他博物館協会が認めた者

<日程>

第1日目：11月28日（水） 会場：東京文化会館小ホール

時間	プログラム
9：30～10：00	受付
10：00～10：55	開会式 挨拶：銭谷眞美（日本博物館協会会長） 真室佳武（大会実行委員長） 祝辞：浮島智子（文部科学副大臣） ゲスト紹介：スアイ・アクソイICOM会長（通訳あり） 表彰式：創立90周年特別表彰、顕彰、棚橋賞、博物館活動奨励賞、 博物館活動特別奨励賞
10：55～11：00	大会決議起草委員発表
11：10～12：00	記念トーク 三浦しをん（作家） 聞き手：海部陽介（国立科学博物館人類史研究グループ長）
12：00～15：00	昼食 ミュージアムメッセ見学<会場：東京国立博物館 表慶館>
15：00～16：30	全国博物館フォーラム（行政報告、これからの科学系博物館、 ICOM京都大会について他） 司会：半田昌之（日本博物館協会専務理事） 講師：榎本剛（文化庁企画調整課長） 講師：林良博（国立科学博物館長） 講師：佐々木丞平（京都国立博物館長（ICOM京都2019組織委員会委員長））
16：30～18：30	展示会プレゼンテーション
19：00～20：30	情報交換会<会場：東天紅 上野本店>

分科会1「ICOM フォーラム『世界の博物館事情とその取組み』」

<会場：東京国立博物館 平成館 1階 大講堂>

「ICOM の概要」

スアイ・アクソイ (ICOM 会長)

「ICOM 京都大会について」

栗原祐司 (京都国立博物館副館長 (ICOM 京都大会 2019 組織委員会運営委員長))

フォーラム「世界の博物館事情とその取組 —ミュージアムの新潮流—」

コーディネーター：島谷弘幸 (九州国立博物館長)

パネリスト：ライシュン・アン (ICOM 副会長)

インキュン・チャン (ICOM 執行役員)

サミュエル・フランコ・アルセ (ICOM ラテンアメリカ・カリブ地域連盟会長)

井上洋一 (東京国立博物館副館長)

内容：2019年9月に京都で開催される ICOM 世界大会に向けて、世界各国から博物館の専門家を招聘し、京都大会の意義について共有する。さらに、世界の博物館を取り巻く現状を報告し、ICOM が果たす役割について議論を深める。(同時通訳あり)

分科会2「博物館がつなぐ・博物館からつながる—サイエンスとカルチャー—」

<会場：国立科学博物館 日本館 2階講堂>

司会：小川義和 (国立科学博物館連携推進・学習センター長)

講師：大和田努 (帯広百年記念館学芸員)

講師：井上卓朗 (郵政博物館長)

講師：坂本 昇 (伊丹市昆虫館副館長)

講師：羽村太雅 (手作り科学館 Exedra 館長)

内容：科学を生活や文化と有機的に結びつけ、人々や地域の学びを促進している諸事例を報告。専門性を有し、特色ある活動を行うミュージアムが、他の機関や地域社会等と連携して活動することの可能性について議論する。

分科会3「世界とつながるコレクション情報」

<会場：国立西洋美術館 講堂>

司会：馬淵明子 (国立西洋美術館長)

講師：山梨俊夫 (国立国際美術館長)

講師：植松由佳 (国立国際美術館情報資料室長)

講師：川口雅子 (国立西洋美術館情報資料室長)

講師：田所夏子 (石橋財団ブリヂストン美術館学芸員)

内容：博物館における収蔵品情報の整理・公開に関する事例を報告。国を挙げて文化財情報の連携が模索されているわが国の現状に鑑み、個々の美術品情報の中身はどうあるべきかという点について国際動向を踏まえつつ考える。

分科会4「ミュージアム・コミュニケーション—『多様な関わりを創る』市民との協働」

<会場：東京都美術館 講堂>

コーディネーター：稲庭彩和子 (東京都美術館学芸員 アート・コミュニケーション係長)

講師：藤田千織 (東京国立博物館教育普及室長)

講師：白木栄世 (森美術館アソシエイト・ラーニング・キュレーター)

講師：近藤乃梨子 (一般社団法人 アプリシエイトアプローチ代表理事)

講師：太田代輔 (合同会社 ダイアリー・クリエイションズ代表)

講師：稲庭彩和子 (東京都美術館学芸員 アート・コミュニケーション係長)

内容：ミュージアムと一般の人々をつなぐ「多様な関わりを創る市民や団体」の活動について、最新の事例を紹介。ミュージアムの持つ文化資源を有意義に市民とミュージアムが共に活用していく方法と課題について考える。

分科会5「博物館における環境教育」

＜会場：恩賜上野動物園 管理事務所会議室＞

司会：鈴木 仁（恩賜上野動物園教育普及係長）

講師：諏訪 哲郎（学習院大学教育学科教授・日本環境教育学会長）

講師：荒井 寛（多摩動物公園野生生物保全センター長）

講師：三橋 弘宗（兵庫県立人と自然の博物館主任研究員）

講師：増田 直広（公益財団法人キープ協会環境教育事業部主席研究員）

講師：羽澄ゆり子（東京都多摩市立連光寺小学校教育連携コーディネーター）

内容：環境保全について自ら考え、行動する人々を増やしていくことを目指し、博物館における環境教育を通じて、特に次世代を担う子どもや若者にどのようなプログラムを提供すれば良いか、最近の環境教育の実践例を基に全員参加型の議論をする。

分科会6「ウェルカム ミュージアム！ 観光からつながる」

＜会場：東京文化会館 小ホール＞

司会：佐々木秀彦（東京都歴史文化財団事務局企画担当課長）

講師：滝本 昌子（東京国立近代美術館企画課広報室長）

講師：茅野 雅弘（上野観光連盟事務総長）

講師：山名 尚志（文化科学研究所代表取締役社長）

講師：サム・ホールデン（赤坂文化社）

内容：多言語対応や共通パス、ナイトミュージアム等の事例を紹介し、充実したミュージアム体験を国内・海外からの利用者にもたらすか、観光資源として期待が高まるミュージアムの取り組みを考える。

第3日目：11月30日（金）

時間	プログラム
8：30～ （コースにより異なる）	施設見学（及び会議参加）

<施設見学コース>

◆Aコース 東京国立博物館文化財用X線CT装置視察

場所：東京都台東区上野公園13-9 東京国立博物館資料館

時間：14：00～、14：30～

東京国立博物館所有の大型X線CT装置の概要説明および活用事例を紹介します。

◆Bコース 国立科学博物館筑波研究施設収蔵庫視察

場所：茨城県つくば市天久保4-1-1 国立科学博物館筑波研究施設

時間：10:20～12:30

概要説明後、2グループ程度に分かれて収蔵庫を見学します。

◆Cコース 世界遺産・国立西洋美術館建築視察

場所：東京都台東区上野公園7-7 国立西洋美術館本館

時間：10:30～、14:00～

世界遺産に登録された本館について解説します。

◆Dコース 恩賜上野動物園 開園前パンダ舎等見学

場所：東京都台東区上野公園9-83 恩賜上野動物園内

時間：8:30～9:30

パンダ舎を中心に、開園前の動物園の見学を行います。

◆Eコース 平成30年度 世界津波博物館会議参加（主催：外務省他）

場所：東京都台東区上野公園13-9 東京国立博物館 大講堂

時間：9:30～13:30

テーマ：時間軸から見た「津波博物館」の役割

～災害を風化させないため将来の世代にどう伝承すべきか～（同時通訳あり）